

# 2023年度 環境経営レポート



2023 Environmental Management Report

活動期間 (2023年度) : 2023年7月1日～2024年6月30日

発行日 : 2024年8月1日



小川アルミ工業株式会社  
OGAWA ALUMINIUM INDUSTRIES CO.,LTD.

## 組織の概要

事業者名	小川アルミ工業株式会社
代表取締役	小川 貴之
所在地	埼玉県さいたま市桜区大字町谷1127番地4
設立	2000年7月3日
資本金	2,000万円
売上高	15億3,139万円
従業員数	27名
延べ床面積	3,614.13m <sup>2</sup>
事業の概要	アルミのリサイクル業、アルミスクラップ・アルミドロス販売、鉄鋼用副資材製造販売、アルミ二次合金販売、産業廃棄物中間処理業
認証対象範囲	全組織・全活動
連絡担当者	鈴木 徹、佐藤 悠

## 産業廃棄物の処理実績

鋳さい	2,141.91 Ton (2023年7月～2024年6月)
-----	--------------------------------

# 産業廃棄物処理業の許可の状況

中間処理施設の種類： 中間処分量  
混合調整： 鋳さい（アルミドロス粉砕物に限る）  
粉砕： 鋳さい（アルミドロスに限る）  
許可番号： 10120117552  
許可年月日： 令和2年6月30日  
許可の有効年月日： 令和7年3月29日

処理する廃棄物の種類： 混合調整： 鋳さい（アルミドロス粉砕物に限る）  
粉砕： 鋳さい（アルミドロスに限る）

## 処理施設の概要

施設の種類	処理能力 (稼働時間)	産業廃棄物の種類
混合調整施設 (リボンミキサー)	81.3t/日 (8時間)	鋳さい（アルミドロス粉砕物に限る）
混合調整施設 (コンクリートミキサー)	174.0t/日 (8時間)	鋳さい（アルミドロス粉砕物に限る）
粉砕施設 (ボールミル)	4.12t/日 (8時間)	鋳さい（アルミドロスに限る）
混合調整施設 (リボンミキサー)	81.3t/日 (8時間)	鋳さい（アルミドロス粉砕物に限る）

## 保管施設の概要

### (処理前)

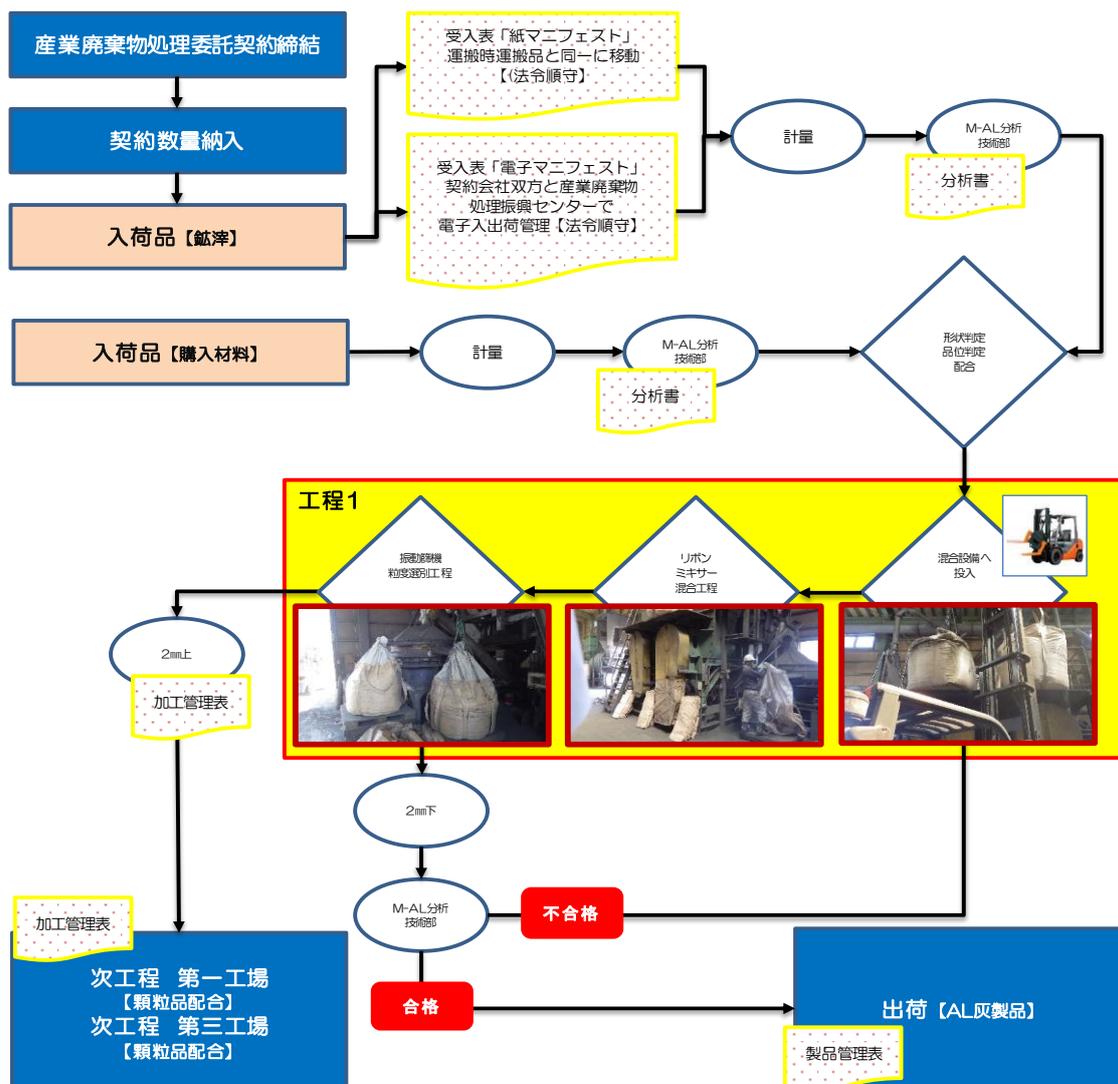
産業廃棄物の種類	保管面積	保管高さ等
鋳さい（アルミドロス粉砕物 及びアルミドロスに限る）	84.0 m <sup>2</sup>	3.00m (1.1m <sup>3</sup> フレキシブルコンテナ200個)
鋳さい（アルミドロス粉砕物 及びアルミドロスに限る）	37.8 m <sup>2</sup>	3.00m (1.1m <sup>3</sup> フレキシブルコンテナ90個)

### (処理後)

産業廃棄物の種類	保管面積	保管高さ等
鋳さい（アルミドロス再生品 に限る）	29.4 m <sup>2</sup>	3.00m (1.1m <sup>3</sup> フレキシブルコンテナ70個)
鋳さい（アルミドロス再生品 に限る）	24.5 m <sup>2</sup>	3.00m (1.1m <sup>3</sup> フレキシブルコンテナ58個)
鋳さい（アルミドロス再生品 に限る）	14.0 m <sup>2</sup>	3.00m (1.1m <sup>3</sup> フレキシブルコンテナ33個)

# 産業廃棄物処理業における施設等の状況

## < 処理工程図 >



## < 処理する廃棄物の種類 >

鉍さい(アルミドロス粉砕物及びアルミドロスに限る)

## < 処理方法 >

混合調整：鉍さい(アルミドロス粉砕物に限る)

粉砕：鉍さい(アルミドロスに限る)

## < 中間処理施設の種類及び処理能力 >

- ① 混合調整施設(リボンミキサー1号機) 81.3 t/日
- ② 混合調整施設(コンクリートミキサー) 174.0 t/日
- ③ 粉砕施設(ボールミル) 4.12 t/日
- ④ 混合調整施設(リボンミキサー2号機) 81.3 t/日

# 環境経営方針

## 基本理念

私たちは、アルミニウムの循環型環境リサイクルに向けて、技術の向上を図り、社会貢献に努め、常にチャレンジ精神を発揮し、アルミニウムの新しい分野を追求します。

## 行動指針

基本理念の実現に向け、環境問題への負荷を低減と資源リサイクル活動を通じて、自然と共存できる社会責任を果たすことを重要な経営課題として位置付け、次のとおり、環境負荷の継続的な改善を図ります。

1. 事業活動に伴う環境負荷を低減し、環境への負荷を最小限にとどめるため、次の取組を行います。
  - (1) 二酸化炭素排出量の削減
  - (2) 廃棄物排出量の削減
  - (3) 水使用量の削減
  - (4) 化学物質の適正管理
  - (5) 受託廃棄物の再資源化率の向上
2. 環境経営の継続的改善を実施します。
3. 環境関連法規などを遵守します。
4. 周辺地域の生活環境を損なわないように公害防止に努めます。
5. エコアクション21の取組に対して、全従業員参加の活動をします。
6. 環境経営方針は公開します。

制定日：2022年7月1日

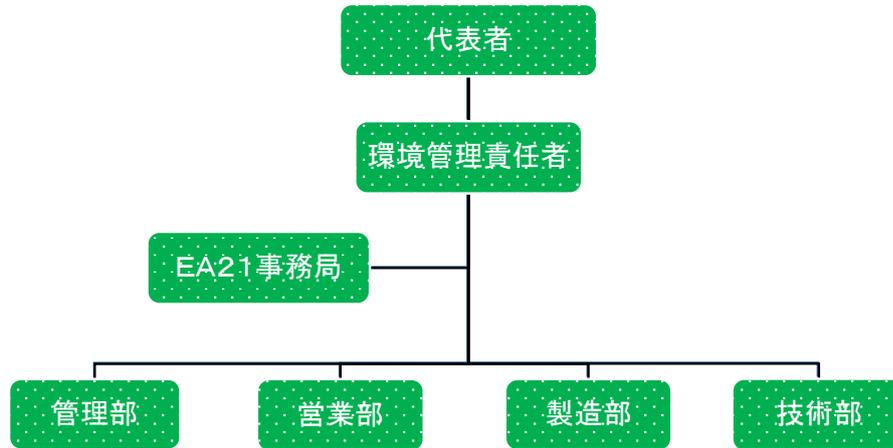
小川アルミ工業株式会社

OGAWA ALUMINIUM INDUSTRIES CO.,LTD.

代表取締役 小川貴之

# 実施体制図

## 環境経営組織図



部門責任者： 管理部長                      営業部長                      製造部長                      技術部長

## 実施体制（役割、責任、権限）

役割 役職	責任及び権限
代表者	1. 経営における課題とチャンスを整理し明確にする 2. 環境経営方針の策定及び従業員への周知 3. 環境管理責任者の任命 4. 環境経営資源の確保 5. 全体の取組状況の評価と見直し・指示 6. 環境活動レポートの承認
環境管理 責任者	1. E A 2 1 活動全般の構築・運用 2. 環境経営目標・環境活動計画の承認 3. 取組状況の把握・評価 4. 環境関連法規の取りまとめ表・遵法評価の承認 5. 教育・訓練計画の承認 6. 代表者の指示の関連部署への実施指示 7. E A 2 1 の実施状況を経営者へ報告
E A 2 1 事務局	1. E A 2 1 活動全般の推進 2. 環境負荷の自己チェック、取組の自己チェックの実施 3. 環境活動目標・計画の原案の作成 4. 環境活動実績集計 5. 環境関連法規取りまとめ表の作成、遵法評価の実施 6. 環境経営レポートの作成、公開 7. E A 2 1 文書類の保管・管理
部門 責任者	1. 自部門の環境目標、環境実行計画の策定・実施 2. 苦情、要望等の把握、報告、対応の実施 4. 是正・予防措置の実施 5. 自部門の活動計画の実施及び達成状況の報告 6. 代表者による改善事項指示の実施

## 環境経営目標（中長期）

目標項目		単位	基準値 2021年度 (2021/07～ 2022/06)	目標値	中長期の目標			
				2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	
				削減率/ 増加率				
CO2 排出 関連	電力使用量削減	kWh	242,586	目標値	237,734	235,308	232,883	230,457
				削減率	2.0%	3.0%	4.0%	5.0%
	ガソリン使用量削減	ℓ	5,163	目標値	5,060	5,008	4,956	4,905
				削減率	2.0%	3.0%	4.0%	5.0%
	軽油使用量削減	ℓ	30,104	目標値	29,502	29,201	28,900	28,599
				削減率	2.0%	3.0%	4.0%	5.0%
	温室効果ガス排出量の削減	kg-CO2	210,072	目標値	205,871	203,770	201,669	199,568
				削減率	2.0%	3.0%	4.0%	5.0%
廃 棄 物 関 連	一般廃棄物	kg	624	目標値	612	605	599	593
				削減率	2.0%	3.0%	4.0%	5.0%
	産業廃棄物	kg	157,154	目標値	154,011	152,439	150,868	149,296
				削減率	2.0%	3.0%	4.0%	5.0%
水使用量の削減	m <sup>3</sup>	416	目標値	408	404	399	395	
			削減率	2.0%	3.0%	4.0%	5.0%	
化学物質管理（塩酸等）	kg	720	目標値	適正管理に努める				
			削減率	-	-	-	-	
受託した産業廃棄物の再資源化率	%	99	目標値	再資源化率の高水準を維持する				
			増加率	99以上	99以上	99以上	99以上	
環境配慮サービスの取組み（地域清掃活動）	回	4	目標値	4	4	4	4	
			増加率	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	

注1) 電力のCO2換算係数：エバーグリーン・リテイリング 2018年実績 0.439kg-CO2/kWh

注2) LPG使用量、化学物質使用量については少量のため削減目標としていない。

注3) 事業年度は 7月～翌年6月。

## 2023年度\_環境活動計画と実績、次年度の取組み

対象期間 2023年7月から2024年6月

活動項目	単位	達成状況		評価	結果と次年度の取組み		
		目標	実績				
二酸化炭素 排出量の削減	本社 工場	<b>電力使用量の削減</b> ・照明のLED化 ・不要な照明の消灯 ・エアコン温度設定 ・OA機器の省エネ設定	Kwh	237,734	312,119	×	目標未達成 ・引き続き、エアコン適正温度の設定、不要な照明の消灯に努める。 ・コンプレッサーのフィルター清掃、エア漏れ点検の徹底に努める。
		<b>ガソリン使用量の削減</b> ・エコドライブ10の実施 ・ルートの検討 ・燃費確認の実施 ・ハイブリッド車の導入	ℓ	5,060	5,537	×	目標未達成 ・アイドリングストップ等のエコドライブ10の徹底がされていないことが一つの要因と考えられる。 ・引き続きエコドライブ10を実施し、燃料使用量の削減に努める。
		<b>軽油使用量の削減</b> ・現場重機のアイドリングストップの実施 ・低燃費車両の導入	ℓ	29,502	30,777	×	目標未達成 ・上記と同様に引き続きエコドライブ10の推進を計ります。
		<b>LPG使用量の適正使用</b> ・消費節約	kg	適正使用	312	○	・引き続き、適正使用に努めた。
		<b>二酸化炭素排出量の削減</b>	kg	205,871	230,206	×	目標未達成 ・エコドライブ10の取組みが不十分であった。 ・コンプレッサーの設備点検の徹底が必要である。
		一般廃棄物量の削減	本社	<b>一般廃棄物の排出量削減</b> ・両面コピーの推進 ・裏紙の使用 ・一般廃棄物分別を実施	kg	612	624
産業廃棄物の削減	本社	<b>産業廃棄物の排出量削減</b> ・分別の徹底	kg	154,011	102,039	○	目標達成 ・次年度も引き続き、分別の徹底を行い排出量の削減に努める。
水使用量の削減	本社 工場	<b>水使用量の削減</b> ・節水活動に努める	m <sup>3</sup>	408	474	×	目標未達成 ・次年度も引き続き、使用量の削減に努める。
化学物質使用量の適正管理	工場	<b>化学物質の適正管理</b>	kg	適正管理	720	○	・適正管理に努めた。
受託した産業廃棄物の再資源化率の維持	工場	・鉱さいからの産業廃棄物発生量を抑える	%	99以上	100	○	・再資源化率の高水準を維持する。
地域貢献	本社 工場	・自治会清掃活動等	回	4	4	○	目標達成 ・引き続き定期的に行う。
<p>総括 LPG、化学物質使用量については少量の使用量のため目標管理とせず、適正処理目標とする。電気使用量については目標値の見直しを含め検討が必要である。エコアクション21に取り組み、少しずつ環境への取り組みが定着してきている。</p>							

# 環境経営計画と実施状況の評価及び次年度の取組み

【評価】 既に取り組んでいる活動には“○”、さらに取組が必要な活動には“△”、取り組んでいない活動には“×”

項目	責任者	環境活動実施項目	評価	次年度の取組み
二酸化炭素排出量の削減	現場部門責任者	エコドライブ10 定期点検の実施 公共交通機関を利用して社用車の利用を控える タイヤの空気圧の定期的確認 ハイブリッド車や電気自動車の導入	○ ○ △ ○ △	継続実施 継続実施 継続実施 継続実施 継続実施
		エコドライブ10 定期点検の実施 タイヤの空気圧の定期的確認 ドライブレコーダーの導入促進 低燃費車、低排出車の導入	○ ○ ○ △ △	継続実施 継続実施 継続実施 継続実施 継続実施
	事務部門責任者	空調の適温化 パソコン等のOA機器は省電力設定 LED照明の採用 照明器具に個別スイッチを取り付ける クールビズ、ウォームビズを心がける 不在時の消灯の徹底 コンプレッサーの適正管理	○ ○ △ △ ○ ○	継続実施 継続実施 継続実施 継続実施 継続実施 新規
		LPGガス使用量の削減	必要最低限の使用とする	○
廃棄物の削減	事務部門責任者	裏紙使用 マイ箸、マイカップ、マイ水筒運動を行う 廃棄物の分別徹底	○ ○ ○	継続実施 継続実施 継続実施
	現場部門責任者	リサイクルの徹底 マニフェストによる適正管理	○ ○	継続実施 継続実施 継続実施
水使用量の削減	事務部門責任者	節水を心がける 浄化槽の適切な維持管理	○ ○	継続実施 継続実施
化学物質使用量の削減	現場部門責任者	屋外での除草剤の使用を削減している 化学薬品（塩酸）適正な使用を心がける	○ ○	継続実施 継続実施
受託した産業廃棄物の再資源化の向上	事務部門責任者	分別の徹底	○	継続実施
環境コミュニケーション及び社会貢献	事務部門責任者	行政、住民、取引先に環境経営レポートの配布 地域のボランティア活動に積極的に参加	△ ○	継続実施 継続実施

# 環境関連法規制等取りまとめ表（遵守評価記録）

		最新状況確認日：2024/04/01		
		遵守状況確認日：2024/04/01		
		最新状況 確認	遵守状況 確認	確認資料等
廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）				
	排出事業者	○	○	契約書、管理表
	処分業者	○	○	契約書、管理表
	廃棄物再生事業者の登録	○	○	登録証明書
浄化槽法		○	○	検査票
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律（フロン排出抑制法）		○	○	点検記録
消防法		○	－	該当なし
自動車NOx・PM法		○	○	適合車
使用済自動車の再資源化等に関する法律（自動車リサイクル法）		○	－	該当なし
埼玉県生活環境保全条例		○	○	アイドリングストップ等
騒音規制法		○	○	騒音測定、届出
振動規制法		○	○	届出
毒劇物取締法		○	○	塩酸の管理
労働安全衛生法（粉じん障害防止規則）		○	○	局所排気、保護具の使用

環境関連法規への違反は、過去5年間ありません。また関係機関からの違反等の指摘事項はありません。  
外部からの苦情もありません。

# 代表者による全体の評価と見直し・指示＜2023年度＞

実施日 2024.08.01

実施者 代表取締役

## (1) 全体の確認・評価

事項	報告内容	代表者の評価
(1)環境経営目標の達成状況	産業廃棄物排出量、水使用量の削減においては目標値を達成。 電力使用量、ガソリン使用量、軽油使用量、CO2削減、一般廃棄物排出量については目標値を達成できなかった。	受注状況の動向を踏まえ、特に電気使用量については目標値の見直しを含め検討すること。
(2)環境経営計画の実施及び運用結果	取組の自己チェック表からの拾い出しをして計画を立てたが、今後も引き続きできるところから実施していきます。	引き続き、環境活動計画に則り実施のこと。 特に目標未達の項目については新たな取組みを検討すること。
(3)環境関連法規のなどの遵守状況	環境関連法規、条例について、関係する条項の遵守をしている。	法律の改正状況には注意して、法遵守の徹底を図ること。
(4)外部からの苦情や要望	苦情はありませんでした。	今後も引き続き、騒音には注意して対応のこと。
(5)前回の指示事項への取組結果	なし	—
(6)その他	特になし	—

## (2) 代表者による環境方針等の変更の必要性ならびに指示事項

項目	変更の必要性	指示事項等
1. 環境方針	変更の必要なし	—
2. 環境目標	変更の必要あり	電気使用量の削減目標値の検討
3. 環境活動	変更の必要なし	—
4. 実施体制	変更の必要なし	—
5. その他	特になし	—

※年1回(8月)に実施、報告者は環境管理責任者